

インドネシア海外研修の4日目、5日目についてご報告します。

4日目は朝ホテルを出発した後、この海外派遣のコーディネートをしてくださっているインドネシア教育省を訪問しました。そこではジャカルタでお世話になった日本大使館の方や、3 日目に交流した SMAN61 高校の生徒さん、教育省でインターンをしている大学生からお話をいただきました。大使館の方からは「高校生という若い世代が交流することに大きな意味がある」というお言葉をいただき、ここでの交流が今後も続いていくといいなと思いました。



その後は、第2の訪問地ジョグジャカルタに向け空港へいきました。ジャカルタから1時間半くらいかかりました。都会のジャカルタとは街の雰囲気も服装も言語も異なり、新鮮でした。



5日目は朝 5 時にホテルを出発し、ボロブドゥール遺跡へ行ってきました。イスラム教徒が多くを占めるこの国ですが、仏教の建物です。訪れてみて「多様性」が共存している国ということを改めて実感しました。また、ジャングルの中にあるため、朝日や空気がすがすがしくとても神聖な気持ちになりました。







そのあと、SMKN6 高校を訪問しました。前回同様全校生徒からの盛大な歓迎を受け、伝統舞踊やスポーツでの交流、ゲームを楽しんだりしました。また調理科の生徒さんが本格的な昼食を作ってくださり、一緒に食事を楽しみました。たくさんの集合写真を撮ったあと、ビンタンベルク城という郷土資料館に現地の数名の生徒たちと一緒にいき、ジョグジャカルタの歴史について学びました。



明日は近くのスーパーで市場調査をした後、ジャカルタを經由して日本に帰国します。たくさんの方々と交流できた縁を今後も大事にしたいです。そして、コミュニケーションをとる手段である英語を話す勉強を続けていきたいです。この派遣の詳細は12月末に校内で発表、2月に派遣校全体発表会を予定しております。海外派遣の実施にご協力いただいたすべての方に感謝しながら、無事に帰国したいと思います。